

ワークショップ だよ！

Vol.5

南部圏域地域ブランド創造ワークショップ in 美波

□ とき 平成23年2月25日(金) 18:30~20:30

□ ところ 美波町役場 2階 会議室

- 南部圏域(阿南市・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町)の地域ブランドの創造に向けて、地域の方たち自身で考え作り上げていく“南部圏域地域ブランド創造ワークショップ”を開催しています。
- このお便りは、“南部圏域地域ブランド創造ワークショップ”での話し合いの様子をお届けするものです。

ステップ1

はじめに

調査によると、徳島県は郷土への愛着度は高いが、自慢度が低いという結果でした。

ワークショップ開催の目的や、外から見た県南地域のイメージなどについて県から説明を行いました。
また、緊張をほぐすため、簡単な体操とゲームを行いました。



ステップ2

地域の強み・弱みについて考えよう

2グループに分かれ、和やかな雰囲気の中で、美波町の地域の強いところ・弱いところについて意見を出し合いました。
参加者からは、美波町に対する熱い思いが、みなぎっていました。



さあ～、みんな
簡単なゲームをしよう
＼(^▽^)/



● ワークショップ参加者の皆さんが思うこの地域の・・・

強いところ!!

- ・気候が温暖 ・空気おいしい
- ・海・山・川が揃っている
(田井ノ浜、大浜海岸、日和佐川・・・etc)
- ・港がきれい ・磯が近い
- ・天草・ひじきなどの健康食品がたくさんある
- ・赤松の米がおいしい
- ・魚介類がおいしい
(あわび・いせえび・アオリイカ・たちうお・・・etc)
- ・地元の食材を使った郷土料理等
(太刀魚すし、骨せんべい、エソのつみれ汁、手作りみそ、美波バーガー、阿波沖海鮮・・・etc)
- ・薬王寺
- ・県下随一の海岸線 ・明丸海岸
- ・漁業体験ができる ・温泉
- ・釣り人が多い ・観光目的のお遍路さんが増えた
- ・由岐地区には公衆用トイレが多い
- ・歴史が面白い
(阿波沖海戦、メノフスキー事件、土佐日記、田井遺跡、紀貫之、女郎岩・・・etc)
- ・伝統文化(日和佐太鼓、ちようさ、吹き筒花火・・・etc)
- ・人柄がよい ・チャレンジする人が結構いる
- ・県南の人は気質がまるい ・もてなしの心
- ・魚がたまに降ってくる
- ・つちのこ伝説

地元の郷土料理は、県外客から見れば、魅力的かも

豊かな自然だけでは、
県外からの人は集められないんだね

弱いところお～..

- ・海・山・川はここより綺麗なところがあるので、ウリにならない
- ・不法投棄が多い ・港ができて、浜がなくなった
- ・休耕田が多い ・空き地・空き家が多い
- ・鳥獣被害が多い
- ・交通の便が悪い ・車がないと不便
- ・文化施設が少ない
- ・高校が無くなった ・自転車屋がない
- ・飲食店が少ない(徳島ラーメンのラーメン屋がない)
- ・釣具屋ない
- ・小中校の児童数が減少している
- ・これといった一番のモノがない
- ・日和佐地区の公衆用トイレが少ない
- ・宿泊施設が少ない
- ・カリスマ的リーダーがいない ・閉鎖的
- ・新しいことを始める活力がない ・PRが下手
- ・跡継ぎが非常に少ない
- ・儲けたらうという気持ちが小さい
- ・郷土色が薄れてきている
(押し寿司が無くなった、古くからの伝統文化が失われている)
- ・観光地への行き方が分からない
- ・めずらしい食材はあるが、常に確保できない
- ・大手スーパーとの値段の格差が大きい

ステップ3

美波町の地域のイメージを提案しよう



グループで出された地域の強みや弱みをもとに、美波町の地域のイメージのもととなるキーワードなどを探りだし、各グループごとに、地域のイメージを提案しました。今回は、売り出し方法についての提案も飛び出しました。



各グループから提案された美波町の地域のイメージ

チーム
BAKU-MATSU

- ・高知につながるまち
- ・幕末
- ・「みなみ阿波歴史海道」で売り出し
- ・ばらばらのまち
- ・徳島県の真珠

今回は、売り出し方法の提案も飛び出したよ
＼(°~°)

チーム
ちゃらんぼらん

- ・徳島の龍宮城
- ・美しい波のまち
- ・思い出の玉手箱
- ・個性的な郷土料理
- ・中途半端な田舎
- ・関所のないまち
- ・PR下手なまち
- ・一番なものがない

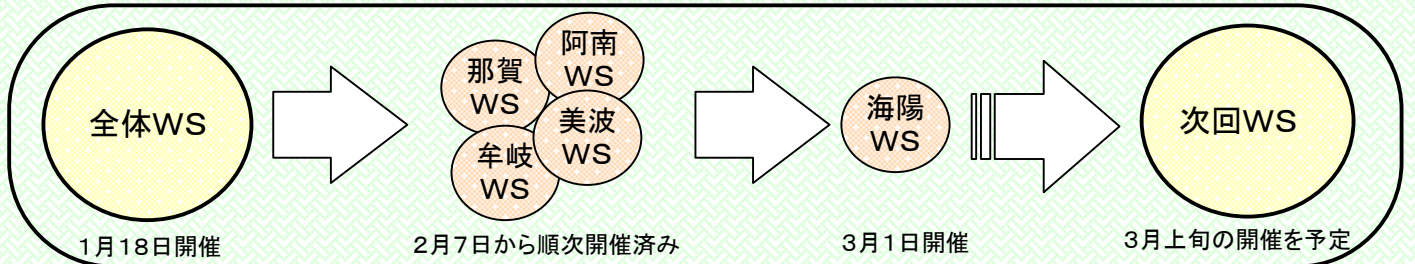
ステップ4

今後の予定

各グループの提案に対して、講評してもらいました。



全体ワークショップ後、今回を含め、県南1市3町で、ワークショップを開催しました。海陽町で開催後、各市町での提案内容を材料に、再度全体ワークショップを開催し、県南地域のイメージを固め、地域ブランドの方向性やPR方法などについて検討していきます。



Q: 「地域ブランド」ってなんじゃ?

「地域ブランド」についての明確な定義はありません。和田充夫ほか著「地域ブランドマネジメント」(有斐閣)では、一つの試みとして、『その地域が独自に持つ歴史や文化、自然、産業、生活、人のコミュニティといった地域資産を、体験の「場」を通じて、精神的な価値へと結びつけることで、「買いたい」「訪れたい」「交流したい」「住みたい」を誘発するまち』と定義づけています。

地域ブランドの創造は、一つの特産品を作ることではありません。地域独自の資産を活用して、生産・販売・観光・交流・移住を有機的に結びつけ、地域全体を活性化させるところに、その創造意義があります。

ファンの心を驚掴みにするものは何か、どういふ“提供のしかた”が必要なのか、みんなで一緒に考えていきましょう。

お問い合わせ

南部圏域地域ブランド創造ワークショップについてのお問い合わせは、こちらまで。

徳島県南部総合県民局<美波>
企画振興部 県南振興担当
電話:0884-74-7356(担当:浦西)

